



電気のホームドクター

今回は、漏電の有無などの電気設備の定期調査のため、中部電気保安協会の調査員が、お客さま宅を訪問した際に発見した、「電気事故の未然防止」事例をご紹介します。

エアコンのアース線取り付け不良箇所を発見

ご家庭の定期調査に伺った際、屋外の電力量計付近で漏電調査を実施したところ、基準値(1mA)を超える値が検知されました。漏電の疑いがあるため、早速お客さまにご説明をし、停電による精密調査「絶縁抵抗測定」のご協力をお願いしました。

その結果、エアコン専用回路における中性線(白線)の絶縁不良と判明しました。過去の経験から、エアコンのコンセントを分解したところ、エアコンに取り付けるアース線が、電源線の中性線(白線)に接続されていることを発見し、これが絶縁不良の原因でした。

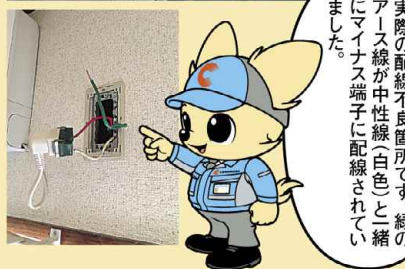
早速、お客さまに現在のアース線の取り付け位置では配線の絶縁状態が維持できず、漏電した場合、正常に漏電遮断器が動作しない旨を伝え、不良箇所を確認していただき、その場で仮手直しを行いました。その後、アース端子付きコンセントへの取り替えと、アース線の取り付けを早期に改修していただくよう、「一般用電気工作物調査結果通知書」により、お客さまにお願いをしました。

私たち調査員は定期的に訪問し、測定器等を用いて不良箇所の有無を判断しています。これまで培ったノウハウを生かして不良箇所を発見し、その改修後にお客さまのご要望に応じて再調査を行っています。

今後も目に見えない電気を「安心・安全」に使っていただけるように、きめ細やかな調査を実施してまいりますので、調査員が訪問の際は、調査にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

報告

名古屋支店 名古屋南営業所
分電盤の絶縁抵抗測定の様子



実際の配線不良箇所です。緑のアース線が中性線(白色)と絡みにマイナス端子に配線されていました。



アース線は正しく取り付けましょう!

アース線を正しく接続することにより、漏電した際に、漏電遮断器を動作させることができ、感電や火災を発生させる危険を少なくします。エアコンだけでなく、特に水回りで使用する家電製品は感電の危険が高いため、必ずアース線を取り付けましょう!

電気設備の定期調査とは

中部電力(株)から委託を受け、一般のご家庭や商店などを対象に4年に1回以上、無料で実施しております



事前に送付する「電気設備の定期調査のお知らせ」(はがき)に記載した訪問期間内に、調査員が順次訪問し、電気設備の調査を行います。

問診・測定・点検を実施し、お客さまに「安心・安全」をお届けします



屋外の計量器付近または、屋内の分電盤において、漏電調査や点検を行います。

電気安全使用の周知を行います



電気安全パンフレットを用いて、安全確保のポイント・自己診断方法について説明を行います。

詳しくは当協会ホームページをご覧ください。